



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 新宅 祐太郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 丸田 正行 TEL 03-6742-8550

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 平成26年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	233,309	3.2	32,990	8.3	34,039	15.1	21,879	12.4
26年3月期第2四半期	226,028	17.8	30,470	8.0	29,568	22.1	19,458	34.0

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 43,173百万円 (18.2%) 26年3月期第2四半期 36,540百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	57.62	57.61
26年3月期第2四半期	51.24	51.24

(注) 当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	866,837	536,185	61.9	1,411.84
26年3月期	832,814	496,245	59.6	1,306.72

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 536,141百万円 26年3月期 496,225百万円

(注) 当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、「1株当たり純資産」につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
27年3月期	—	14.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	14.50	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年3月期及び平成27年3月期(予想)における配当金につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	488,000	4.4	64,000	△2.0	62,000	△2.8	33,500	△1.7	88.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

・年間想定レート：1ドル=100円、1ユーロ=140円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 5 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	379,760,520株	26年3月期	379,760,520株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	14,889株	26年3月期	11,324株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	379,746,121株	26年3月期2Q	379,753,440株

(注) 当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日まで）の医療市場は、依然として厳しい環境が続きました。海外では、米国においては病院の資本財の需要回復傾向が見られるものの、欧州・新興国における医療費抑制の動きや価格圧力は継続しています。日本では、消費税の引き上げや一部高齢者の個人負担増加などによる受診抑制、診療報酬改定による医療機関の機能分化による支出抑制の動きが懸念されます。

このような環境の下、当社グループでは「世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、カンパニー経営を軸に、持続的かつ収益性のある成長を目指して経営を推進しております。各カンパニーにおける主な取り組みは以下の通りです。

- 心臓血管カンパニーは、国内ではPTCA拡張カテーテル「Hiryu Plus」（ヒリュウプラス）、血管内画像診断製品の拡大、海外では第1四半期に欧州で販売を開始した薬剤溶出型冠動脈ステント「Ultimaster」のアジア・中南米への販売を開始しました。
- ホスピタルカンパニーは、医療安全へのニーズの高まりを受け、閉鎖式輸液システム「シュアプラグAD」の本格販売を開始しました。併せて製品の原価改善に努めました。
- 血液システムカンパニーは、欧米で続いた厳しい環境に加え、国内で献血数の減少の影響がありましたが、中南米、アジア市場では全血採血関連および成分採血システム製品が引き続き堅調でした。

第1四半期連結会計期間より、カンパニー経営の進化に伴い、従来の報告セグメントである「心臓血管事業」「ホスピタル事業」「血液システム事業」をそれぞれ「心臓血管カンパニー」「ホスピタルカンパニー」「血液システムカンパニー」に名称変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

当第2四半期連結累計期間の業績は次の通りです。

<売上高>

売上高は、前年同期比3.2%増の2,333億円となりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
売上高	226,028	233,309	3.2	0.3
売上総利益	117,146	122,939	4.9	1.2
営業利益	30,470	32,990	8.3	2.7
経常利益	29,568	34,039	15.1	—
四半期純利益	19,458	21,879	12.4	—

(単位：百万円)

地域別売上高	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
日本	93,177	89,424	△4.0	△4.0
欧州	45,559	50,739	11.4	4.1
米州	54,146	57,982	7.1	3.1
アジア他	33,145	35,162	6.1	2.7
海外計	132,851	143,885	8.3	3.3
合計	226,028	233,309	3.2	0.3

国内では、主にホスピタルカンパニーと心臓血管カンパニーの薬価・公定価改定の影響、血液システムカンパニーにおける献血数の減少による影響もあり、前年同期比4.0%減の894億円となりました。一方、海外では欧米およびアジアでのカテーテルシステムの売上拡大、血液システムカンパニーが堅調であったことから、前年同期比8.3%増の1,439億円となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、国内の薬価・公定価改定の影響がありましたが、国内工場を中心とした原価改善と国内外での高付加価値品の拡大に努めた結果、前年同期比4.9%増の1,229億円となりました。

<営業利益>

営業利益は売上総利益の増加に加え、販促費を中心とした費用を適切にコントロールした結果、前年同期比8.3%増の330億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、営業利益の増加に加え、円安による為替差益により、前年同期比15.1%増の340億円となりました。

<四半期純利益>

四半期純利益は、前年同期比12.4%増の219億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下の通りです。

なお、前第2四半期連結累計期間の調整額は、平成25年3月期に事業譲渡した在宅酸素・輸液ポンプ事業及び、平成26年3月期に戦略的提携を行った次世代型補助人工心臓システム等に関わる売上高であります。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
心臓血管カンパニー	売上高	100,758	108,911	8.1	3.9
	(国内)	24,154	23,468	△2.8	△2.8
	(海外)	76,603	85,443	11.5	6.0
ホスピタルカンパニー	売上高	81,177	78,394	△3.4	△4.3
	(国内)	62,728	59,924	△4.5	△4.5
	(海外)	18,449	18,469	0.1	△3.9
血液システムカンパニー	売上高	44,077	46,004	4.4	0.7
	(国内)	6,296	6,031	△4.2	△4.2
	(海外)	37,781	39,972	5.8	1.5
調整額	売上高	15	—	△100.0	△100.0
	(国内)	△1	—	—	—
	(海外)	16	—	△100.0	△100.0

<心臓血管カンパニー>

国内では、昨年度に販売を開始したニューロバスキュラー事業の新製品が好調でしたが、カテーテルシステムなど公定価改定の影響があり減収となりました。海外では欧米やアジアでカテーテルシステムが好調に推移し、ニューロバスキュラー事業が欧米で引き続き堅調でした。

その結果、心臓血管カンパニーの売上高は前年同期比8.1%増の1,089億円となりました。

<ホスピタルカンパニー>

国内では、薬価改定や、消費税引き上げおよび医療保険制度の改定による影響があり、前年同期比4.5%の減収となりました。海外では製薬企業向けB2Bビジネスは順調に拡大しましたが、低収益ビジネスの見直しを行い、前年同期比で0.1%増とほぼ横ばいとなりました。

その結果、ホスピタルカンパニーの売上高は前年同期比3.4%減の784億円となりました。

<血液システムカンパニー>

国内では全血関連製品が献血数の減少による需要調整の影響もあり減収となりました。一方、海外では全血採血とアフエレス治療分野が好調に推移しました。

その結果、血液システムカンパニーの売上高は前年同期比4.4%増の460億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ340億円増加して8,668億円となりました。

流動資産は為替影響を含む現金及び預金の増加等により、114億円増加して3,223億円となりました。

固定資産は成長投資及び為替影響等により、218億円増加して5,422億円となりました。有形固定資産はテルモ山口(株)への投資等により115億円増加、無形固定資産は80億円増加、投資その他の資産は24億円増加となりました。

(負債)

負債の部は、為替影響等による増加があったものの、未払法人税等の支払による減少等により、59億円減少して3,307億円となりました。

(純資産)

純資産の部は、399億円増加して5,362億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.3ポイント増加し、61.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年5月8日に公表しました平成27年3月期第2四半期累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日まで）の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じました。

1. 平成27年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想数値と実績の差異（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 236,000	百万円 28,000	百万円 27,000	百万円 16,000	円 銭 42.13
今回実績 (B)	233,309	32,990	34,039	21,879	57.62
増減額 (B-A)	△2,690	4,990	7,039	5,879	—
増減率 (%)	△1.1%	17.8%	26.1%	36.7%	—
(参考) 前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	226,028	30,470	29,568	19,458	102.48

当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前回発表予想 (A) 及び今回実績 (B) における1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

2. 差異の理由

平成27年3月期第2四半期累計期間の実績につきましては、日本における消費税引き上げや医療保険制度の改定などによる影響があり、売上高は前回予想を下回りましたが、海外での収益性の高いカテーテルシステムの売上伸長による売上総利益増加のほか、販促費を中心とした費用を適切にコントロールしたことにより、営業利益が予想を上回りました。さらに円安に伴う為替差益や特別損益等により、四半期純利益は前回予想を大幅に上回りました。

3. 通期連結業績予想について

平成26年5月8日に公表いたしました平成27年3月期通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の実績、平成26年10月23日に公表した「欧州のホスピタル事業ポートフォリオ改革について」に伴う64億円の特別損失を見込んだことにより、当期純利益の予想を修正しております。通期連結業績予想は、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」もご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が3,509百万円増加し、利益剰余金が2,258百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ316百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	95,618	103,988
受取手形及び売掛金	101,520	98,636
商品及び製品	60,034	64,501
仕掛品	10,262	11,214
原材料及び貯蔵品	23,668	24,841
繰延税金資産	12,340	11,362
その他	8,933	9,214
貸倒引当金	△1,394	△1,414
流動資産合計	310,985	322,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	54,215	60,812
機械装置及び運搬具(純額)	43,916	44,563
土地	21,757	21,851
リース資産(純額)	406	841
建設仮勘定	27,974	31,557
その他(純額)	9,483	9,611
有形固定資産合計	157,755	169,236
無形固定資産		
のれん	154,161	158,186
顧客関連資産	93,968	96,977
その他	56,626	57,569
無形固定資産合計	304,756	312,732
投資その他の資産		
投資有価証券	37,954	42,050
繰延税金資産	5,323	369
退職給付に係る資産	2,573	5,535
その他	11,969	12,225
投資その他の資産合計	57,820	60,181
固定資産合計	520,332	542,151
繰延資産		
繰延資産合計	1,496	2,340
資産合計	832,814	866,837

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,147	36,633
短期借入金	260	362
1年内返済予定の長期借入金	4,652	4,945
リース債務	225	181
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	18,401	9,974
繰延税金負債	94	56
賞与引当金	4,849	5,125
役員賞与引当金	109	59
設備関係支払手形及び未払金	8,425	10,018
その他	45,769	43,593
流動負債合計	160,936	150,950
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	76,769	81,466
リース債務	299	304
繰延税金負債	47,795	47,577
役員退職慰労引当金	66	66
退職給付に係る負債	3,124	4,041
資産除去債務	220	225
その他	7,354	6,018
固定負債合計	175,632	179,701
負債合計	336,568	330,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	52,103	52,103
利益剰余金	353,600	372,233
自己株式	△24	△32
株主資本合計	444,396	463,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,269	13,961
繰延ヘッジ損益	△2	—
為替換算調整勘定	43,377	62,040
退職給付に係る調整累計額	△2,816	△2,881
その他の包括利益累計額合計	51,828	73,120
新株予約権	20	43
純資産合計	496,245	536,185
負債純資産合計	832,814	866,837

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	226,028	233,309
売上原価	108,881	110,370
売上総利益	117,146	122,939
販売費及び一般管理費	86,676	89,948
営業利益	30,470	32,990
営業外収益		
受取利息	180	235
受取配当金	170	184
受取ロイヤリティー	53	95
為替差益	659	2,467
持分法による投資利益	68	—
その他	512	677
営業外収益合計	1,645	3,659
営業外費用		
支払利息	724	502
売上割引	314	339
持分法による投資損失	—	5
たな卸資産処分損	73	243
その他	1,435	1,519
営業外費用合計	2,547	2,610
経常利益	29,568	34,039
特別利益		
固定資産売却益	7	130
事業譲渡益	299	—
債務勘定整理益	—	1,905
特別利益合計	307	2,035
特別損失		
固定資産処分損	151	397
減損損失	558	1,225
関係会社整理損	—	371
役員退職慰労金	33	—
事業整理損	873	—
特別損失合計	1,616	1,993
税金等調整前四半期純利益	28,258	34,081
法人税、住民税及び事業税	9,284	11,858
法人税等調整額	△514	343
法人税等合計	8,769	12,201
少数株主損益調整前四半期純利益	19,488	21,879
少数株主利益	30	—
四半期純利益	19,458	21,879

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19,488	21,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,572	2,691
繰延ヘッジ損益	10	2
為替換算調整勘定	14,471	18,663
退職給付に係る調整額	—	△65
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	1
その他の包括利益合計	17,051	21,293
四半期包括利益	36,540	43,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,553	43,173
少数株主に係る四半期包括利益	△13	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	100,758	81,177	44,077	226,013	15	226,028
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	100,758	81,177	44,077	226,013	15	226,028
のれん等償却除くセグ メント利益	20,095	10,862	8,933	39,891	△1,391	38,500
セグメント利益	19,121	10,862	1,876	31,861	△1,391	30,470
のれん等償却除くセグ メント利益率(%)	19.9	13.4	20.3	17.6	—	17.0

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,391百万円には、たな卸資産の調整額△497百万円、その他△893百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管カンパニー」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては558百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	108,911	78,394	46,004	233,309	—	233,309
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	108,911	78,394	46,004	233,309	—	233,309
のれん等償却除くセグ メント利益	21,451	9,606	9,317	40,375	942	41,317
セグメント利益	20,489	9,606	1,952	32,048	942	32,990
のれん等償却除くセグ メント利益率(%)	19.7	12.3	20.3	17.3	—	17.7

(注) 1. セグメント利益の調整額942百万円には、たな卸資産の調整額213百万円、その他728百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管カンパニー」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,225百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

第1四半期連結会計期間より、カンパニー経営の進化に伴い、従来の報告セグメントである「心臓血管事業」「ホスピタル事業」「血液システム事業」をそれぞれ「心臓血管カンパニー」「ホスピタルカンパニー」「血液システムカンパニー」に名称変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称に基づき作成したものを開示しております。

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

前第4四半期連結会計期間より、平成25年3月期に事業譲渡した在宅酸素・輸液ポンプ事業及び、平成26年3月期に戦略的提携を行った次世代型補助人工心臓システム等に関わる売上高・費用に関して、これらを調整額へ含める方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、上記変更後の利益の測定方法により作成したものを開示しております。この変更により従来の方法によった場合に比べ、前第2四半期連結累計期間のセグメント利益が「心臓血管カンパニー」で323百万円増加し、「ホスピタルカンパニー」で2百万円減少し、「調整額」で321百万円減少しております。

(重要な後発事象)

欧州のホスピタル事業ポートフォリオ改革

当社は、持続的かつ収益性のある成長へ向けて、欧州のホスピタル事業ポートフォリオ改革を実施します。これに伴い、当社連結子会社であるテルモヨーロッパN.V.（ベルギー）は、平成26年10月23日の取締役会にて上記を決議し、同社労働組合との協議を開始しました。

1. 背景・理由

欧州のホスピタル事業の市場環境は、医療費抑制の動きや価格圧力の高まり、また生産コストの上昇など厳しい状況が続いています。同社はこれに対応し、以下のポートフォリオ改革を実施いたします。

2. ポートフォリオ改革の概要

- ・ 欧州のホスピタル事業での基盤医療器の製造収束・販売縮小
- ・ 製薬企業向けB2Bビジネスやカテーテル事業の更なる強化

3. 営業活動等に及ぼす影響

この改革により平成28年3月末までに最大260名の人員削減を見込んでいます。この改革による影響額は、現時点で64億円を見込み、当連結会計年度の第3四半期連結会計期間において、特別損失に計上する予定です。

なお、本日（平成26年11月5日）付けて「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を公表し、連結業績予想の修正を行っております。